プロスポーツ 競輪祭号外版

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

GP最後の椅子をかけた戦い

第65回「朝日新聞社杯競輪祭」は、11月21日～26日の日程で小倉競輪場に於いてナイターで開催される。また、ガールズグランプリトライアルが「競輪祭女子王座戦」として生まれ変わり、今年は記念すべき第1回大会が開催される。男子、女子ともにトップクラスが一堂に会し覇を競う。この開催で暮れの競輪グランプリ2023出場選手が男女ともに決定する。見どころ満載の6日間だ。

今年のG1戦線で、最も存在感を示しているのは、古性優作であることに異論を唱える者はあるまい。昨年に続き全日本選抜、高松宮記念杯を連覇すると、寛仁親王牌は4連勝で大会初Vを達成した。今年の獲得賞金はすでに2億円を突破しており、第2位の山口拳に8千万円以上の差をつけてトップを快走中。勝率が昨年の25%から50・7%に跳ね上がっているのも、今年の充実ぶりを物語っている。優勝に最も近い存在とみて中心視した。今シリーズで最も注目を集めるのは脇本雄太だろう。オールスターで落車し、3カ月近くの欠場を余儀なくされたが、復帰戦だった11月四日市記念は衝撃を与える内容だった。二次予選は最終ホームあたりから始動して上がりタイム11秒0で圧勝。前のレースで怒涛のまくりを決めた新田祐大の上がりタイムが11秒2だったのだからすごさがわかる。マークして3着だった浅井康太が「オートレース場を走ってるのかと思った」と舌を巻くほどだった。更に上積みも見込めるだけに、主役を演じる可能性は大いにありそうだ。

古性 優作

中四国勢も松浦悠士、清水裕友、犬伏湧也、太田海也など戦力は整っている。オールスターの落車で1カ月半欠場し、復帰後は一息不足の感があった松浦だが、3場所目の11月防府記念in玉野の動きは復調を感じさせた。この大会は19年にG1初Vを飾っていてゲンもいい。防府記念in玉野では6連覇を達成し、自己の記録を伸ばした清水も状態はいい。今年の獲得賞金ランキングは第6位で、SS班復帰をほぼ決めている。チャンスが巡ってくればものにできる脚勢だ。松浦、清水にとって犬伏、太田の存在は心強い。今年の犬伏はダービー、オールスター、寛仁親王牌で決勝に乗るなど、一段と飛躍を遂げた印象だし、自転車競技で大活躍を演じている太田は、オールスター②①④①着、寛仁親王牌は一次予選で逃げ切り。本業でもG1で先行力を猛アピールしている。中四国勢が優勝をさらっても不思議ではない。

脇本 雄太

SS班4名を擁する北日本勢も互角の戦い。グランドスラマー・新田、昨年の覇者である新山響平、追い込み型も佐藤慎太郎、守澤太志とそろっている。今年の世界選手権のケイリンで、銅メダルを獲得した中野慎詞もいるだけに、ラインの総合力はかなりのもの。昨年のように北日本連係を奏功させて、優勝者を輩出する場面もありそうだ。

松浦 悠士

九州勢では嘉永泰斗、山田庸平らに上位進出の期待がかかる。今年の嘉永はウィナーズカップ、共同通信社杯で決勝進出、5月函館記念でVなど、自力攻撃に迫力を増した印象だ。山田は高松宮記念杯で優参を果たすと、オールスターでも①②①②❺着。初タイトルも視野に入る成績を残している。

獲得賞金ランキング第12位の郡司浩平は、5年連続のグランプリ出場に向けて勝負駆け。南関勢は深谷知広、松井宏佑、北井佑季らスピードスターがそろっているので、台風の目と化すこともあるか。

主力メンバー

※2023年11月11日現在

主力選手プロフィール	新山響平	守澤太志	佐藤慎太郎	新田祐大	郡司浩平	平原康多	脇本雄太	古性優作	松浦悠士
	シンザン キョウヘイ	モリサワ フトシ	サトウ シンタロウ	ニッタ ユウダイ	グンジ コウヘイ	ヒラハラ コウタ	ワキモト ユウタ	コショウ ユウサク	マツウラ ユウジ
	青森 八戸市 30	秋田 大仙市 38	福島 東白川 47	福島会津若松 37	神奈川 横浜市 33	埼玉 狭山市 41	福井 福井市 34	大阪 和泉市 32	広島 広島市 33
	107期 171cm71	96期 170cm68	78期 169cm73	90期 172cm77	99期 166cm73	87期 185cm91	94期 181cm85	100期 168cm77	98期 168cm68
	六号CSC	六郷CSC	築邦崎潮	築邦崎CSC	黒崎400	武400	福井CSC	関西CSC	広島400
	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1	SS Ss 決 S1
直近4ケ月	114.96	114.63	117.89	114.72	114.31	115.22	118.00	119.05	114.55
前期得点	114.42	116.07	116.11	116.70	114.90	114.86	118.57	120.22	115.85
今期得点	114.62	114.26	117.08	115.00	117.55	114.72	117.65	118.34	115.68
直近12場所成績	宮 ⑦ ④ ② ④ 9	宮 ① ① ① ⑥ ③	宮 ⑥ ③失 欠	夕 ③ ⑥ ② ④ ① ⑤	宮 36日間 ① ① ① ⑤ ① ⑦	宮 49日間 ③ ③ ④ 醸 ② ⑥	全 ① ② ① ⑨ ② ④	夕 40日間 5 ① ② ① ⑤ ④	夕 ③ ⑥ ② ④ ③ ① ②
	SN ④ ① ① ① ③ ④	宮 ③ 補 ④ ④ ④	SN ⑦ 3 1	宮 ② ② ② ③失 欠	SN 4 ④ ① ② ② ⑦	SN 7 ① ② ② ⑥	宮 ① ① ① ① ① ①	宮 ⑧ ① ① ① ① ①	宮 ② ③ ③ ③ ① ④
	AS ⑧ ④ ⑤ ① ③ ⑦	SN 宮 ③ 補 ④ ④ ④	AS ⑧ ⑨ ④ ④ ⑤ ① ③	AS ⑤ ② ③ ③ ⑦ ② ⑥	宮 ④ ① ① ① ① ⑦	AS ⑤ ② ③ ③ ⑦ ② ⑥	AS ⑨ 補 ⑤ ③ ③ ①	宮 ④ ① ① ① ① ①	宮 ② ③ ③ ③ ① ④
	8月 園 ② ① 醸 欠	9月 宮 ③ 補 ④ ④ ④	9月 AS ④ ③ ④ ① ⑦ ②	7月 園 ① ① ② ④ ③ ⑧	10月 親 ① ③ ② ⑦ ①	9月 宮 ① ③ ① ① ③ ③	7月 AS ① ① ① ① ① ①	7月 園 ④ ③ ② ① ① ②	8月 宮 ① ② ② ③ ① ③
	9月 宮 ③ ① ① ② ③ ③	9月 AS ② ③ ⑦ ④ ⑤ 発 欠	9月 宮 ④ ③ ④ ④ ① ⑦	8月 宮 ⑤ ⑧ 醸 ⑥ ⑨ 補8 欠	8月 宮 ① ⑧ ⑨ ② ① ⑦	8月 宮 ⑧ 2 5 ① ① ③	7月 SN 補9 ① ① ① ① ①	9月 宮 ① ① ② ② ③ ②	9月 宮 ③ ① ① ② ② ③
	10月 親 ① ③ ② ⑦ ①	11月 親 ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ 補失 欠	9月 AS ② ③ ⑦ ④ ⑤ 発 欠	7月 園 ① ① ② ④ ③ ⑧	10月 親 ① ③ ② ⑦ ①	8月 宮 ① ③ ① ① ③ ③	6月 SN 補8 ① ① ① ① ①	7月 AS ① ① ① ① ① ①	9月 宮 ③ ① ① ② ② ③
	10月 盤 ③ ③ ① ① ① ⑦	10月 盤 ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ 補失 欠	9月 AS ④ ④ ① ① ① ①	9月 園 ① ① ② ② ② ②	11月 親 ① ③ ② ⑦ ①	9月 宮 ① ③ ① ① ③ ③	6月 宮 ① ① ① ① ① ①	9月 園 ① ① ② ② ② ②	11月 親 ① ③ ② ⑦ ①
	93 [7]	91 [9]	95 [6]	93 [5]	93 [6]	92 [9]	95 [3]	95 [4]	93 [7]
総合評価	30 27 24 12	0 ○ ○ 4	0 ○ ○ 5	12 6 2 8	10 7 4 3	1 1 ○ 11	11 8 2 0	1 ○ ○ 2	5 ○ 1 2
BS HS 打鐘 S数	15 5 ○ ○	○ 3 11 ○	○ 1 21 6	3 17 1 ○	4 10 7 2	○ 1 14 2	6 21 1 ○	○ 17 9 2	○ 6 10 5
逃ま追マ	9 4 ○ ○	○ 2 10 ○	○ 1 10 ○	○ 8 ○ ○	3 8 6 ○	○ 1 9 ○	2 20 ○ ○	○ 16 6 ○	○ 3 6 ○
上逃対/下1着									
1 12 場所間	26 28 13 40 15 7 57 11 8 % 45 21	27 23 12 31 7 2 43 14 5 % 31 23	23 20 11 59 26 17 70 19 5 % 32 13	18 22 8 48 23 13 62 7 6 % 27 14	37 33 17 51 15 6 60 8 4 % 24 16	23 19 10 39 12 7 55 9 7 % 30 17	52 36 22 66 7 6 69 2 1 % 13 12	48 33 22 62 18 6 68 5 3 % 15 13	20 20 9 46 25 12 64 14 8 % 28 15
単率 連率 三連									
決準特予	7 7 12 12 3 3 4 8	7 10 12 13 5 6 4 9	7 10 12 13 5 6 4 9	7 7 12 12 3 3 4 8	5 9 13 11 3 4 5 7	6 10 13 11 0 5 3 7	9 9 15 8 3 7 9 8	9 10 13 11 6 7 3 10	7 9 14 10 2 4 5 7
種目	7 12 11 14 1 5 1 11	3 9 12 12 0 3 3 6	0 16 7 0 4 3 0 8 6 0 12 19	0 21 7 0 6 9 1 6 4 1 25 19	0 24 9 0 10 5 0 3 5 0 6 18	0 13 6 0 7 5 0 4 5 0 17 13	4 19 13 0 1 6 0 0 2 1 5 7	2 15 16 0 10 8 0 2 3 0 6 9	0 16 4 1 15 9 0 9 5 1 14 13
出場/連対 12場所									
FI成績 CGⅢ成績 特別競輪	22 8 193 13 4 101 9 0 74 33 3 298	21 4 275 5 0 187 13 3 148 28 4 486	14 3 471 18 3 477 15 4 328 20 5 863	18 8 380 17 4 185 6 1 108 20 5 395	23 7 357 12 6 176 6 0 89 17 2 353	15 4 491 7 5 285 6 1 169 21 5 508	31 2 369 5 1 141 2 1 62 9 1 307	24 2 314 7 4 197 5 4 119 14 5 369	15 4 342 18 5 237 11 2 163 21 1 424
400 1年間 当3年間 準優勝									
賞金	7798万	6047万	1億2942万	6527万	6215万	4179万	8059万	2億1878万	9617万
ベスト	10秒8	10秒8	10秒8	10秒6	10秒7	10秒7	10秒4	10秒9	10秒8
戦法	逃捲	追込	追込	捲逃	捲逃	自在	逃捲	自在	自在

朝日新聞社杯 競輪祭 出場予定選手

※2023年11月11日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	117.89
SS	平原康多	埼玉	87期	115.22
SS	新田祐大	福島	90期	114.72
SS	脇本雄太	福井	94期	118.00
SS	守澤太志	秋田	96期	114.63
SS	松浦悠士	広島	98期	114.55
SS	郡司浩平	神奈川	99期	114.31
SS	古性優作	大阪	100期	119.05
SS	新山響平	青森	107期	114.96
S1	香川雄介	香川	76期	109.35
S1	小倉竜二	徳島	77期	111.63
S1	諸橋愛	新潟	79期	114.35
S1	桑原大志	山口	80期	112.17
S1	野田源一	福岡	81期	110.14
S1	荒井崇博	長崎	82期	112.48
S1	佐々木雄一	福島	83期	110.67
S1	渡部哲男	愛媛	84期	107.68
S1	大槻寛徳	宮城	85期	106.69
S1	東口善朋	和歌山	85期	113.60
S1	岡村潤	静岡	86期	107.72
S1	村上博幸	京都	86期	114.73
S1	井上昌己	長崎	86期	108.28
S1	和田健太郎	千葉	87期	113.22
S1	岩津裕介	岡山	87期	114.00
S1	園田匠	福岡	87期	111.62
S1	大森慶一	北海道	88期	110.87
S1	成田和也	福島	88期	111.19
S1	渡邉一成	福島	88期	108.43
S1	南修二	大阪	88期	116.24
S1	柏野智典	岡山	88期	109.76
S1	渡部幸訓	福島	89期	115.09
S1	内藤秀久	神奈川	89期	109.27
S1	橋本強	愛媛	89期	108.67
S1	山田英明	佐賀	89期	112.81
S1	飯野祐太	福島	90期	107.68
S1	浅井康太	三重	90期	114.75
S1	稲川翔	大阪	90期	114.56
S1	阿竹智史	徳島	90期	109.07
S1	小川勇介	福岡	90期	108.52
S1	北津留翼	福岡	90期	109.61
S1	永澤剛	青森	91期	109.07
S1	菅田壱道	宮城	91期	110.68
S1	神山拓弥	栃木	91期	109.00
S1	宿口陽一	埼玉	91期	108.60
S1	大川龍二	広島	91期	106.38
S1	和田圭	宮城	92期	111.81
S1	鈴木裕	千葉	92期	108.43
S1	山田久徳	京都	93期	114.28
S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	107.00
S1	岩本俊介	千葉	94期	111.79
S1	山田庸平	佐賀	94期	114.56
S1	小原太樹	神奈川	95期	110.27
S1	坂口晃輔	三重	95期	109.11
S1	雨谷一樹	栃木	96期	108.88
S1	磯田旭	栃木	96期	105.22
S1	長島大介	栃木	96期	111.25
S1	松谷秀幸	神奈川	96期	113.57
S1	深谷知広	静岡	96期	114.90
S1	中本匠栄	熊本	97期	109.23
S1	武藤龍生	埼玉	98期	114.50
S1	原田研太朗	徳島	98期	104.27
S1	小松崎大地	福島	99期	111.79
S1	阿部力也	宮城	100期	108.14
S1	横山尚則	茨城	100期	106.41
S1	神田紘輔	大阪	100期	108.10
S1	吉澤純平	茨城	101期	107.37
S1	三谷竜生	奈良	101期	114.00
S1	杉森輝大	茨城	103期	108.43
S1	谷口遼平	三重	103期	108.95
S1	渡邉雄太	静岡	105期	111.00
S1	清水裕友	山口	105期	117.00
S1	鈴木竜士	東京	107期	107.64
S1	隅田洋介	岡山	107期	109.27
S1	簗田一輝	静岡	107期	104.31
S1	取鳥雄吾	岡山	107期	108.28
S1	太田竜馬	徳島	109期	107.40
S1	野口裕史	千葉	111期	104.14
S1	田尾駿介	高知	111期	107.17
S1	松本貴治	愛媛	111期	112.23
S1	山崎賢人	長崎	111期	112.20
S1	眞杉匠	栃木	113期	115.93
S1	松井宏佑	神奈川	113期	113.82
S1	嘉永泰斗	熊本	113期	116.11
S1	小原佑太	青森	115期	107.78
S1	坂井洋	栃木	115期	110.76
S1	佐々木悠葵	群馬	115期	113.33
S1	岩谷拓磨	福岡	115期	107.33
S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	111.00
S1	寺崎浩平	福井	117期	114.77
S1	山口拳矢	岐阜	117期	114.47
S1	町田太我	広島	117期	109.41
S1	伊藤旭	熊本	117期	108.96
S1	松本秀之介	熊本	117期	106.81
S1	吉田有希	茨城	119期	108.36
S1	北井佑季	神奈川	119期	113.93
S1	犬伏湧也	徳島	119期	115.97
S1	中野慎詞	岩手	121期	113.78
S2	大塚健一郎	大分	82期	109.05
S2	小林圭介	茨城	83期	95.33
S2	芦澤大輔	茨城	90期	108.13
S2	志村太賀	山梨	90期	100.55
S2	恩田淳平	群馬	100期	106.62
S2	金子幸央	栃木	101期	105.92
S2	久保田泰弘	山口	111期	107.62
S2	黒沢征治	埼玉	113期	105.50
S2	森田優弥	埼玉	113期	109.44
S2	橋本壮史	茨城	119期	102.63
S2	太田海也	岡山	121期	118.44
競輪祭女子王座戦				
L1	荒牧聖未	栃木	102期	56.38
L1	小林莉子	東京	102期	56.48
L1	石井寛子	東京	104期	56.40
L1	山原さくら	高知	104期	56.80
L1	奥井迪	東京	106期	55.71
L1	尾崎睦	神奈川	108期	56.44
L1	児玉碧衣	福岡	108期	57.75
L1	中野咲	愛知	110期	55.54
L1	林真奈美	福岡	110期	54.42
L1	太田りゆ	埼玉	112期	59.50
L1	梅川風子	東京	112期	58.50
L1	吉村早耶香	静岡	112期	54.08
L1	太田美穂	三重	112期	56.44
L1	坂口楓華	愛知	112期	56.87
L1	佐藤水菜	神奈川	114期	62.00
L1	當銘直美	愛知	114期	53.75
L1	柳原真緒	福井	114期	56.42
L1	那須萌美	宮崎	114期	55.63
L1	久米詩	静岡	116期	56.63
L1	吉岡詩織	広島	116期	54.85
L1	高尾貴美歌	長崎	116期	51.87
L1	村田奈穂	熊本	116期	53.84
L1	下条未悠	富山	118期	53.63
L1	増田夕華	岐阜	118期	53.45
L1	尾方真生	福岡	118期	56.89
L1	飯田風音	埼玉	120期	53.72
L1	吉川美穂	和歌山	120期	57.33
L1	畠山ひすい	北海道	122期	53.86

プロスポーツ
PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE
第65回 朝日新聞社杯 競輪祭
号外版

記者のイチ押し！

CYCLE
JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

車券の購入は20歳になってから。
競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、
機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。

小山 記者

岩谷 拓磨

松井 宏佑

松井宏佑はオールスターで落車。復帰戦の青森は「（復帰まで）いままでで一番、長引きました。筋力もだいぶ落ちた」と本調子には遠かったが寛仁親王牌、京王閣と走って1走ごとに状態が戻っている印象。「セッティングを修正したら自転車の感じが良くなった」と戦える手応えをつかんだ。小倉は20年に初めてG1決勝の舞台を走った場所。ドームはナショナルチーム時代に磨いたスピードを発揮できる高速バンクだけに脚質ともマッチ。ここで完全復活を目指す。

競輪史に名前を刻む吉岡稔真氏の愛弟子の岩谷拓磨。今年の8月に師匠の冠レースを優勝したが、意外にもこれが小倉での初優勝。その時の決勝は九州5車結束で犬伏湧也を打ち破り、不動會一門で上位を独占。ラインの力で強敵を倒せることを証明した。また松戸記念の準決は郡司浩平を相手に先行して2着に粘り、連係した兄弟子の小川勇介から「ベストバウトじゃないですか」と高い評価を得た。成績に波はあるが、九州ラインの先頭で戦う姿に注目したい。

竹内 記者

大塚健一郎

内藤 秀久

大塚健一郎は、今年2月の全日本選抜で20年の競輪祭以来となるG1カムバックを果たした。G1フル参戦とはいかなかったが、今シリーズの競輪祭が今年5回目のG1出場。04年の寛仁親王牌で初めてG1ファイナルの舞台を踏んだ時が26歳。年齢を考えると頭が下がる思いだ。

〝競輪〟に対しては、どこまでもストイック。その姿勢は、歳を重ねても変わっていない。まずは遠ざかっているG1での勝ち星を。そして、その先に。20代とは違う熟練の走りで、大塚が九州勢を陰から支える。

「このままでは、ダメですね。G1では闘えない。一から叩き直さないと」と、寛仁親王牌では、羊の皮をかぶったままだった内藤秀久。競輪祭では、ギラついた〝狼〟に変貌することを期待したい。前回の松阪からは2週間以上空く、ゆとりのローテーション。肉体的にも、精神的にもスイッチを入れ直すだけの時間はあるだろう。今年最後のG1で存在感を見せて、ファンの目にしっかりと内藤を焼きつかせよう。

細川 記者

小松崎大地

山田 久徳

3月の松山記念で落車のアクシデントに見舞われて前半戦は苦しい戦いを強いられていた山田久徳が、ようやく復調ムード。G1の成績も19走して6勝を含む9連対と連対率は50％にも迫る勢いで、高いレベルで安定している。9月京王閣は試した新車が噛み合わず精彩を欠いてしまったが、自転車を戻して狂いが生じていたペダリングも修正に成功した。競輪祭は21年に決勝にも進出している相性良い舞台で、今年最後のG1の大舞台で今年一番の輝きを放つ。

寛仁親王牌の準決勝では犬伏湧也、寺崎浩平らスピード自慢の若手を破って決勝に進出している小松崎大地。「（オールスターの落車で鎖骨を骨折して）やりたい練習ができなくなったので、少しアプローチ方法を変えて、できることを探しながら、できることを増やしていったら思ったよりも早く戻ってきたなっていう感じですね」。視点を変えて体と向き合い、練習メニューにも変化を加えて急復調。6日制の長丁場のシリーズでも迷いなき仕掛けで勝ち進む。

権田 記者

伊藤 颯馬

野口 裕史

防府記念は、準決以外の3走を先行策で3連対の野口裕史。4番手に収まったことが裏目に出た準決は、見せ場なく8着に敗れた。「中団にいる方がキツかった。自分で駆けた方がタイムも出ているんで、前に出た方がいい」と、40歳の野口はあらためて自身の持ち味を再認識していた。G1になり一次予選から相手が強化されるのは明らかだが、逆に別線が野口を駆けさせる組み立てをしてくる可能性も十分にある。無欲の先行策で、あれよあれよという間にゴール。そんなシーンがあってもいい。

直近の高松は初日に伊藤旭の番手から勝ち星を挙げた伊藤颯馬だったが、その後は連続のシンガリ負け。不安がないわけではないが、9車立てなら変わり身がありそうだ。前々回の防府記念では、3度バック奪取で2着3回。ラインの中本匠栄とワンツーの一次予選では、仕上がりの良さに手ごたえをつかんでいた。目を引いた早めの仕掛けは、G1への布石だろう。今年のラストG1は、しっかりと成績につなげる。

GIRLS KEIRIN 競輪祭女子王座戦 11/21(火)22(水) 23(木)

佐藤 水菜
【神奈川・114期】

GP目指し運命の最終決戦

グランプリ出場権を争う最終決戦は競輪祭女子王座戦（G1）に格上げされ、賞金も大幅アップ。ただ、獲得賞金19位の佐藤水菜が出場権を獲得していて、ボーダーの6位の坂口楓華と7位の小林莉子の差が190万円あることを考えたら、決勝2着の賞金209万円を積み上げても下位からは獲得賞金でグランプリ出場は厳しい。現実的には小林もだが、2年連続でのグランプリ出場を目指す柳原真緒、山原さくら、佐藤と同じくナショナルチームの太田りゆ、梅川風子らは優勝するしかない。一方で、3位の尾方真生から坂口までの賞金差は50万円程度なので、賞金圏外の選手が優勝した場合、尾方、吉川美穂、石井寛子、坂口は誰が脱落するか分からない気の抜けない状況だ。

優勝争いは、これまでの新設G1のパールカップ、オールガールズクラシックをそれぞれ制した児玉碧衣、佐藤を軸に繰り広げられよう。ジャパントラックカップから中ゼロ日でもレースになれば並外れた集中力を発揮する佐藤。佐藤との対戦では長い距離を踏んでの勝負を辞さない児玉のライバル対決はここも見ものとなる。現在獲得賞金1位の久米詩はプレッシャーなく走れる強みを生かして、佐藤、児玉超えを果たしたい。